

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年4月10日 (2014.4.10)

【公表番号】特表2013-520650(P2013-520650A)
 【公表日】平成25年6月6日 (2013.6.6)
 【年通号数】公開・登録公報2013-028
 【出願番号】特願2012-553905(P2012-553905)
 【国際特許分類】

G 2 1 D 5/02 (2006.01)

G 2 1 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 2 1 D 5/02

G 2 1 D 9/00

【手続補正書】
 【提出日】平成26年2月18日 (2014.2.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

少なくとも 1 つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、
 少なくとも 1 つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程と、

停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、
 原子炉システムにおける少なくとも 1 つのエネルギー変換システムへ供給する工程と、
 を含む方法。

【請求項 2】

上記少なくとも 1 つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、
 少なくとも 1 つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程は、

少なくとも 1 つの原子炉システムの一部からの余剰エネルギーの少なくとも一部を、
 少なくとも 1 つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

上記少なくとも 1 つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、
 少なくとも 1 つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程は、

少なくとも 1 つのエネルギー伝達システムを用いて、少なくとも 1 つの原子炉システム
 の一部からのエネルギーにおける選択された一部を、少なくとも 1 つの予備熱貯蔵器へ迂
 回させる工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

上記停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一
 部を、原子炉システムにおける少なくとも 1 つのエネルギー変換システムへ供給する工程
 は、

停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部を、少なくとも 1 つの熱
 供給システムを用いて原子炉システムにおける少なくとも 1 つのエネルギー変換システム
 へ供給する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

上記停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一
 部を、原子炉システムにおける少なくとも 1 つのエネルギー変換システムへ供給する工程

は、

停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのタービンへ供給する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

さらに、

少なくとも1つの予備熱貯蔵器に、少なくとも1つの付加的なエネルギー源からの付加的なエネルギーの一部を補充する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

上記少なくとも1つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、少なくとも1つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程は、

少なくとも1つの状態に反応して、少なくとも1つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、少なくとも1つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

上記停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程は、

停止事象を示す少なくとも1つの状態に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

上記停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程は、

原子炉システムの少なくとも1つの運転システムによって確定された停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

上記停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち少なくとも一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程は、

停止事象に反応して、迂回されたエネルギーの選択された一部のうち特定の一部を、原子炉システムにおける少なくとも1つのエネルギー変換システムへ供給する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

上記少なくとも1つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、少なくとも1つの予備熱貯蔵器へ迂回させる工程は、

少なくとも1つの原子炉システムの一部からのエネルギーにおける選択された一部を、少なくとも1つの予備熱貯蔵器における少なくとも1つの蓄熱材の集合体へ迂回させる工程を含む、請求項1に記載の方法。